



飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

2570地区ガバナー 相原 茂吉

第3グループ
ガバナー補佐 西澤 長次

Let's make fellows! 友達をつくろう

第2966例会 2021. 6. 23

—— 親睦活動月間 ——

天候曇 (NO. 57-52)

会長 田辺 實 幹事 森 健二

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 神田(康)君、木川(-)君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 田辺会長
- ・ソング 手に手つないで 四つのテスト
- ・ロータリーの目的唱和 森田職業奉仕委員
- ・3分間スピーチ

◎講演会ご案内

飯能JC: 守田理事長・

根本委員長・石井副委員長

7/15(木)飯能市民会館19時

「ソーシャルビジネス」200名限定。



【会長報告】

コロナ禍の中、役員理事、会員皆様の温かいご協力の一部変更等ございましたがほぼ予定の事業を終了。本当に有難うございました。事務局の西川さん西脇さんには大変お世話になりました。次年度、会員企業がさらに発展します事を願っております。

■第36回会長3分間スピーチ「活学の出来る人物」

花は香り人は人柄。人柄が悪ければものを知っていたところで何の価値もない。実力があっても容姿端麗でもその価値は半減する。学んだ事を人生に活かしていく「活学」の出来る人になれ。その学問、思想をもって自分の性格をつくり、これを自分の環境に及ぼしていく。その実践性がなければ活学ではない。人間をつくり家庭をつくり社会をつくる上に役立つ命のある学問を興し、これを政治経済百般に適応していかねばならない。「環境が人をつくる」という事に囚われてしまえば人間は単なるモノになってしまう。「人が環境をつくる」。そこに人間たるゆえん、自由がある。主体性、創造性がある。だから人物が偉大であればある程、立派な環境をつくる。環境を変えていく。人間がお粗末だと環境に支配される。環境はあなたがつくるのです。リーダーとは環境をつくる人であり、勇気と希望、夢を与え人々の心を活性化していくのです。絶えずそれをやっていたら自然に良き方向に変わっていく。例会は正に鍛錬の場ではないでしょうか。

「賢は賢なりに、愚は愚なりに」一つの事を何十年と継続していけば必ずものになる。偉い人になる必要はない。社会の何処にあってもその立場立場において無くてはならぬ人になる。仕事を通して世のため人のために貢献する。そういう生き方を一人ひとり

がしていく。それが真の活学。無くてはならぬ人になるのが「一隅を照らす」という事。自分の周りではなく自分自身を照らす。天地から与えられたこの命、この体、この心は全部借り物。時間が来たら返さなければいけない。天地から借りている自分という場をまず照らさなければ周りなんか照らせない。「一隅を照らす」とは、まず自分自身を照らす事なのです。一年間ご清聴有難うございました。

【幹事報告】

希望の風奨学金への寄付に相原ガバナーより御礼。25クラブから合計125万630円の寄付があり、100万円を上乗せして送金したとの事です。

◎例会場変更のお知らせ

◇所沢RC「ベルヴィ ザ・グラン」火曜日12:30~

【委員会報告】

◎次年度幹事

大野(康)君

7/7第2回理事会。クラブ協議会。担当の方はご用意をお願いします。座席は委員会毎に配置します。

【出席報告】無届欠席0 神田(敬)出席向上委員長

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
71名	5名	64名	90.14%	83.09%

【M U】

6/3(地区)和泉君 6/18(地区)和泉君

◎純粋100%出席者12名=神田(康)、森、本橋、中里(昌)、中里(忠)、中川、大野(康)、大野(泰)、田辺、高橋、鳥居、矢島(尚)会員:高級電波時計・RCマーク入り
MU含む100%出席者24名。記念品をお持ち帰りください。一年間有難うございました。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・2020-21年度会長を務めさせて頂き有難うございました。お蔭様で滞りなく終える事が出来ました。感謝申し上げます。田辺實君

・守田理事長、飯能JCの皆様、例会によるこそ。矢島(敏)君、吉島君、島田君

・だいぶ健康回復して参りました。夏場をうまく乗り越えたいです。今後共よろしくお願ひします。安藤君
 ・一年間有難うございました。 田辺会長
 高橋会長エレクト、矢島(高)副会長、森幹事、本橋SAA
 ・田辺会長、一年間大変ご苦労様でした。吉田(健)君
 本日計 15,000円、
 累計額1154,001円。
 ◎7日例会当番は
 小谷野(正)・柏木会員。



《バッジの交換》

・閉会点鐘
 田辺会長

＝第57期 第3回 クラブ協議会(2日目)＝

司会：田辺会長

◎山川 庄太郎 職業奉仕委員長

加藤義明、森田美明、木川泰宏、山口孝、鳥居崇委員と担当。第1例会「四つのテスト」、第2例会「ロータリーの目的」唱和、ソング斉唱はコロナのため心の中で行いました。職業奉仕月間に相原G卓話を実施。職場見学会は取り止めました。

◎吉田 健 職業分類委員長

沢辺 滯彦、木川一男委員と担当。増強、選考委員会より連絡を頂いた14名は、未充填分類10名：不動産管理、医療製造販売、カイロプラクティック、警備業、焼付塗装、燃料店、給排水設備工事、弁護士(2)、保守管理業、充填分類4名：公認会計士、建築業、銀行(2)。以上のように分類されました。

◎坂本 淳二 親睦活動委員長

小川晃男、中山久喜、五十嵐正則、大野正幸、都築敏夫、天ヶ瀬和弘、塩川恭浩、中川律子委員と担当。委員会は13回の予定が最終6/2で10回となりました。結婚・誕生日祝い記念品贈呈。夜間例会10/21、親睦ゴルフコンペ10/25、クリスマス家族会12/16、合同ゴルフコンペ4/11、合同例会4/21。親睦旅行、移動例会は中止。代わりに家族会6/5を開催。会長はじめ役員



皆様の迅速な決断で、さまざまな感染対策の下、上記の開催が出来ました。一年間有難うございました。

◎神田 康夫 国際奉仕委員長

細田吉春、吉島一良委員と担当。会長からの課題は2つ。1)東清州との姉妹クラブ関係を検討する。2)駿河台大学留学生日本語スピーチコンテストに協力する。1)「飯能からは関係を解消せず継続する」との委員会としての結論を第6回理事会に上程、「現状を維持しつつ対応していく」との理事会決定がなされました。姉妹クラブの歴史、問題点等を踏まえ9月に卓話。2)は中止となりました。



◎川口 浩 青少年奉仕委員長

福島毅、大津力、内沼博史委員と担当。感染症は青少年にも多大な影響を与えています。市の学校教育課、スポ少と協議を重ね、以下の事業を実施。1)RC財団助成金活用事業「第1回RC杯中学生卓球大会」1/9カップ贈呈式(大会は延期)。2)「RC杯少年野球大会」3/5カップ贈呈式、大会は4月から開催され、まもなく決勝戦。表彰式に出席する予定です。環境保全、社奉共同で市の「環境学習用品給付事業」に10万円を寄付。担当卓話は臨時休会となりました。



◎大崎 光二 環境保全委員長

市川昭、柏木正之、斗光健一、杉山剛委員と担当。コロナは収束せず、活動はほとんど出来ませんでした。3委員会合同の寄付事業は継続実施して頂ければと



思います。次年度はツーデーマーチ等、活動の場が復活される事を切に祈念しております。

◎吉澤 文男 社会奉仕委員長

前島宏之、佐々木翔、小谷野大典委員と担当。「地域社会に根付いた社会奉仕の実践」との会長方針から環境保全、青少年奉仕と合同で、財団補助金を利用した「青少年育成スポーツ大会」を開催。また、地域安全運動の一環で「振り込め詐欺被害防止キャンペーン」に参加。「歳末たすけあい募金」寄付金を社協にお届けしました。

◎吉田 行男 会報・広報委員長

大附富義、坂本厚委員と担当。例会を記録し会報を発行するのが私達のやる事ですが、アクリル板やマスクで話が聴き取りにくい中、会報の重要性を感じた一年でもありました。特に、大勢の新入会員のイニシエーションスピーチを文字として残せたのは良かったと思います。専門の編集者が居る事でいろいろ楽をさせて頂きました。全面カラー化も実現。第11回理事会で承認された「タイトル写真変更」は次年度に引き継ぎます。アクリル板があるので、マスクは外し顔を上げ、豊かな表情を写真に撮りたいというのが委員の本音です。創立会員だった父が「RCは毎週あるのがミソだ」とよく言っておりました。大いに語り合うRC本来の姿を会報でお伝える事が難しい一年となりました。早く元の状態に戻れる事を期待して報告とさせて頂きます。

◎鈴木 康弘 雑誌委員長

安藤泰雄、本間由也、大嶋研一委員と担当。月1回「ロータリーの友」紹介。18か所に雑誌配付。「飯能RCカップ第31回せせらぎ杯中中学生卓球大会」主催者団体に加わり、優勝カップを飯能市卓球連盟に寄贈した記事が掲載。時間が無く、紹介が十分に出来ませんでした。一年間有難うございました。

◎矢島 巖 ロータリー財団委員長

大野康委員と担当。一番大事な炉辺会談は残念ながら出来ませんでした。「世界でよいことをしよう」の標語の下、健康、教育、貧困救済のために寄付のご協力をお願いします。大崎会員が地区に出向されており、初めてかと思いますが財団補助金を今年度は有効に活用させて頂きました。年次寄付(上期)60名(下期)69名(129名×25ドル)3,225ドル。恒久寄付(129名×15ドル)1,935ドル。ポリオプラスにも同額を寄付。特別寄付はマルチプルフェロー：田辺、大木、大附、和泉会員、ポールハリスフェロー：森、大崎会員、ベネファクター：私、矢島です。

◎中里 忠夫 米山記念奨学委員長

間邊元幸委員と担当。奨学生・江悦さんの世話クラブとして大野康会員にカウンセラーをお願いしました。江悦さんは6/24、12/16、3/24の3例会に出席、交流出来ました。その他7/12セミナー、3/7卒業式に参加。7名より特別寄付を頂戴。有難うございました。

◎神田 康夫 細則変更準備委員長

中里昌平、大木重雄、半田武、吉田武明、高橋弘、田辺實、森健二委員と担当。細則変更は55年の歴史で初の試み。今まではRI推奨のものをそのまま利用していました。委員会では、飯能RCの定款と矛盾しない事を心掛けながら現状に足りないところを補う事を第一義に活発に意見交換。お蔭様で先月の例会で決定されました。ご支援ご協力に感謝申し上げます。